



第1回「榊原子ども学奨励賞」の 受賞者が決まりました。

2025年、故榊原洋一前理事長のご遺志のもと、
佐藤こども財団からのご支援を得て、「榊原子ども学奨励賞」が設立されました。

第1回となった今回はAコース24件、Bコースに17件の応募がありました。

審査は第一次、第二次の2段階で行われ、
「子ども学研究としての意義」「研究内容の妥当性」「研究計画の妥当性」
「奨学金使途の妥当性」「倫理的配慮」の5つの観点から審査を行い、
Aコース6件、Bコース1件を受賞者として決定しました。

Aコース

申請者氏名	所属	研究テーマ	助成希望金額
鏡原崇史	松山東雲女子大学人文科学部	絵本の読み聞かせにおける読み手の表情と相互的やり取りの役割—幼児の「よそ見」と情動反応への影響—	669 千円
丹下承子	聖心女子大学	家庭における幼児の創造的ICT活用モデルの構築	990 千円
油川さゆり	玉川大学 学術研究所	小学生の「総合的な学習の時間」における地域の縄文文化の学びが子どもに与える影響—歴史的思考力・自然との共生意識—	1000 千円
菊地一晴	学校法人東京聖徳学園 聖徳大学 教育学	子どもの言語スキルと保護者のモバイルデバイス使用の経時的関係	645 千円
別府崇善	東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻比較教育社会学	不登校を経験した子ども・若者の進路展望—追跡インタビューによる支援の検討	711 千円
山口宏	神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野小児神経学・発達行動小児科学部門	知的発達症を合併した自閉スペクトラム症の2歳児に対する応用行動分析に基づいた既存の早期療育プログラムを組み合わせた有効性の検討	1000 千円

Bコース

申請者氏名	所属	研究テーマ	助成希望金額
孫 怡	立命館アジア・日本研究機構	行動観察による食事場面の親子関わりと子どもの社会情緒発達—東洋と西洋の文化比較研究	3000 千円

■榊原子ども学奨励賞の趣旨

日本子ども学会は榊原洋一先生が創案し、佐藤こども財団のご寄付を得て、2025年に「榊原子ども学奨励賞」を設立しました。この賞は「子ども学」に資する研究を推進あるいは計画している将来性のある研究者に奨励金を供与し、その研究を支援することを目的としたものです。

「子ども学（チャイルド・サイエンス）」とは、本学会の設立者、故小林登先生が構想された、子どもに関わる自然科学や人文科学を包括する学際的・環学的な学問領域です。子どもの生活環境を豊かにする成育デザインの開発や、子どもの問題の解決に寄与する実践なども視野に入れた総合的な科学です。

本賞を通じて「子ども学」への社会的関心を高め、子どもの幸せに資する知識の深化や、社会システムの構築へと繋げていくことを切に希望します。

■榊原子ども学奨励賞の応募は毎夏1回です。詳細は学会ホームページをご覧ください。

<https://kodomogakkai.jp/sakakihara-kodomo.html>